

国連大学グローバル・セミナー 第4回東北セッション

UNU Global Seminar 4th Tohoku Session

資源循環と地域社会 -地域社会から地球社会へ-

Local Resource Cycles and Global Sustainable Society

セッションB 都市と農村の連携

Session B : Linking cities and rural communities



講義4 遠野型ツーリズムの実践による地域再生の試み

Lecture 4 : Regional development through Tono-style tourism

特定非営利活動法人 遠野 山・里・暮らし ネットワーク

NPO Tono Network Center of tourism, art and life

徳吉英一郎

Eiichiro Tokuyoshi

1 遠野ツーリズムに関する環境特性 Environmental characteristics of of Tono

よそ(南)から遠野にやってきて得た印象は...


	遠野(東日本(東北))	西日本
文化1	縄文	弥生
文化2	森林文化	稲作文化
植生	ブナ帯	照葉樹林帯
社会	部族的	中央集権的
イメージ	野生	洗練



→森と森に生きるものと共生する(狩猟、山菜・キノコ採取...)

→生活の根っこに森があり、野生の感覚がある

2 遠野ツーリズムが目指すイメージ・キーワード Keywords of Tono-style tourism

<p>アジールとしての遠野</p> 	<p>聖域。そこに飛び込めば安全になり、また自らの自由を獲得し、各人の活力を回復できる場所。 ⇒遠野の「日本のふるさと再生特区」(通称:どぶろく特区)</p>
<p>小盆地宇宙としての遠野 米山俊直『小盆地宇宙論』</p>	<p>「言語、物質文化、生活慣習、行事、経済の完結したマイクロコスモス。(盆地底における)人と物と情報の集散。」⇒小盆地宇宙である遠野自体が都市と農村のファクターを持っている(『遠野物語』の根)。</p>
<p>共進化プロセスとしての遠野ツーリズム</p>	<p>生物同士や生物と環境が互いに影響を与えあい変化を誘発していく連鎖⇒都市と農村、外部と内部の関係(交流)としてツーリズムは共進化的なプロセスを描く。</p>
<p>ブリコラージュとしての遠野ツーリズム レヴィ・ストロース『悲しき熱帯』</p>	<p>制度やプロに頼ることなく手持ちの材料や目の前の道具で必要なものを作り上げる手仕事。器用仕事。⇒能動的に働きかけ生きる力を実感する場としての遠野ツーリズム。野生の思考。</p>

3 遠野ツーリズムのコンセプト Concept of Tono-style tourism

<p>生命主義的開発方法</p> <p>阿蘇グリーンストック運動 佐藤誠著『リゾート列島』 オルタナティブな開発手法の提示</p>	<p>遠野のGTは、宿泊型の体験観光としてではなく、地域(住民)による、持続可能な地域開発(まちづくり)として移入された。生命のdevelop(進化、成長)のありように学ぼう。</p>
<p>スタディツーリズム</p> <p>常民大学 遠野物語ゼミナール 『注釈遠野物語』(筑摩書房)1997</p>	<p><偉大なソフト>としての柳田國男の『遠野物語』を学ぶ運動としてのスタディツーリズムの先行。STとGTを併せて遠野ツーリズムとする(1998年)。</p>
<p>草の根ツーリズム</p> <p>クラスタの形成</p>	<p>行政主導ではなく、地域住民や仲間たちが始める多様な展開(後述)。</p>



4 遠野ツーリズムの展開経緯

The history of Tono-style tourism

	ハード/インフラ	プロジェクト/実現の形	人/NPO	その他
1994		地元学地域情報誌『パハヤチニカ』	パハヤチニカ編集委員会	
1995		第1回東北グリーンツーリズム・フィールド ドスタッフ・ミーティングin遠野(TGFM)	遠野グリーンツーリズム研究会	
1996	遠野ふるさと村 インフラ整備期	体験プログラム	まぶりっと衆早池峰の会	第2回TGFM 山形県 高畠町
1997	フォルクローロ遠野	厳冬期9泊10日炭焼き職人体験	つきもうしファーマーズネット	第3回TGFM 福島県 下郷町
1998	道の駅遠野風の丘	農家レストラン夢咲き茶屋	あやおり夢を咲かせる女性の会	
1999	農村民宿つきもうしくらぶ 上閉伊酒造ビールプラント 遠野馬の里 木材総合供給基地	市民による地ビールZUMONA 乗用馬生産の拠点・乗馬環境の整備	つきもうしファーマーズネット 遠野地ビール研究会	第4回TGFM 秋田県 羽後町
2000	地ビールレストランTANTOTANTO	減反農地の有効利用(果樹園+畑地) 馬つき田園居住環境・住宅整備事業	どまほらカンポス Queen's Meadow Country House	第5回TGFM 宮城県 若柳町
2001	遠野ケーブルテレビ	寺沢高原ホースフェスタ等	遠野郷馬っこ王国ライディングクラブ	第6回TGFM 青森県 名川町
2002	あえりあ遠野	プロジェクトK(ワーホリ+地域通貨)	カッパクラブ	第7回TGFM 東京虎 の門パストラル
2003	ハードソフト統合期	全国GT先進地首長記念シンポジウム	NPO遠野山・里・暮らしネットワーク 遠野エコネット	第1回全国GTネット ワーク大会in水俣
2004		日本のふるさと再生特区(どぶろく特区) 東北ツーリズム大学	農家民宿Milk Inn 江川(国内第1号) NPO遠野山・里・暮らしネットワーク	第2回全国GTネット ワーク大会in鳴子
2005	遠野ドライビングスクール	ツーリズム型合宿免許企画	TDS・山里ネット・市	第3回全国GTネット ワーク大会in北海道

ネットワークの
拡がり

一方で草の根展開期

5 遠野ツーリズムの多様な展開～クラスター

So many grass-roots groups gathered and formed a cluster.



- 1 自然職人グループ since 1993 国際交流、若者育成
- 2 あやおり夢を咲かせる女性の会 since 1994 農家レストラン経営
- 3 パハヤチニカ編集委員会 since 1994 地元学情報誌編集
- 4 遠野グリーンツーリズム研究会 since 1995 遠野GT研究
- 5 つきもうしファーマーズ・ネット since 1997 GT実践グループ
- 6 宮守川上流地域環境部会 since 1998 環境整備、直売経営
- 7 どまほらカンポス since 1999 パーマカルチャー研究
- 8 遠野郷馬っこ王国ライディングクラブ since 2001 ホーストレッキングチーム
- 9 カップクラブ since 2002 ワーキングホリデーと地域通貨
- 10 茅葺き職人グループ since 2002 茅葺きインストラクター、茅葺き技術保存
- 11 伝統芸能団体グループ since 2002 神楽、しし踊り体験ツアー実施
- 12 遠野エコネット since 2003 エコツアー、ネイチャースクール等実施
- 13 遠野民泊協会 since 2005(予定) 農泊(民泊) 受入農家グループ

6 遠野ツーリズムのタイプ別バリエーション Variation of Tono-style tourism

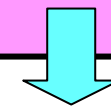
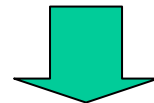


<p>直売タイプ 遠野市農産物直売組合 (遠野風の丘)はじめ市内 8ヶ所</p>	<p>体験タイプ 遠野ふるさと村、伝承園 など</p>	<p>農家レストラン タイプ 夢咲き茶屋、久理庵など</p>
<p>農家民宿タイプ Milk Inn 江川、つきもうし くらぶ</p>	<p>民泊タイプ 2005年実績23軒(遠野市 と宮守村)</p>	<p>ワーキングホリ デー・タイプ 中核5軒プラス5軒</p>
<p>セミナーツアー タイプ 東北ツーリズム大学</p>	<p>ジョイントベン チャータイプ ツーリズム型合宿免許</p>	<p>移住定住タイプ あるいは過渡期としてのデュアルハビ テーション(二地域居住)馬つき田園 居住環境整備プロジェクトなど</p>

稼動中

収益事業

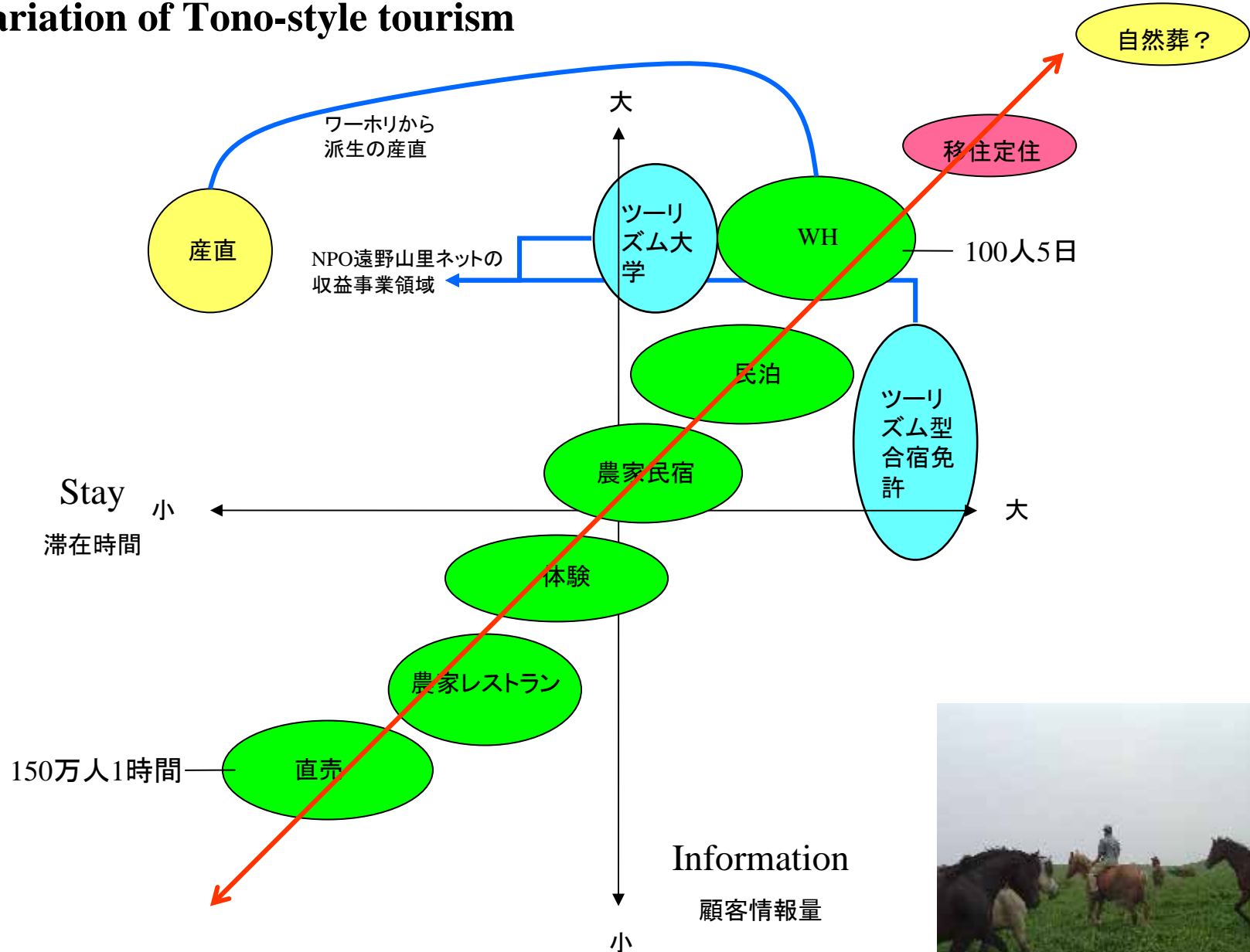
準備中



2007年問題対応

さまざまなニーズやシーンに対応する遠野ツーリズムスタイル。

7 遠野ツーリズムのタイプ別バリエーション相関図 Variation of Tono-style tourism



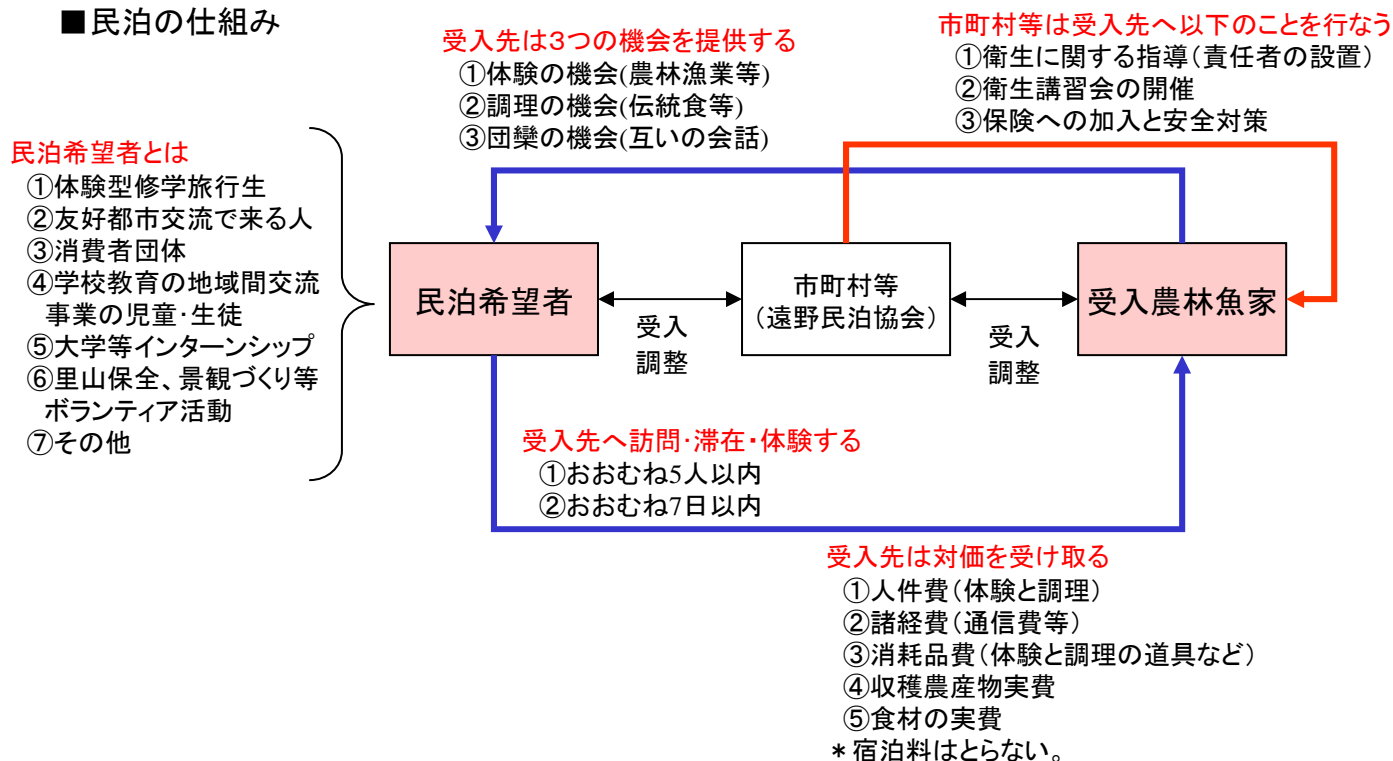
10 遠野の民泊

Homestay in the countryside of Tono city

岩手県は2005年3月31日、「農林漁家への民泊に係る取扱指針」を施行した。
 いままで民宿業を営んでいない農家に、都市から人が訪れ、滞在してゆっくり時間を過ごすには、遠野においては、日中一緒に働くワーキングホリデーという方法があったが、これに加え、もっとのんびりと過ごす本来のグリーンツーリズムにありように道が開かれた。ちょっと農業などの体験をし、一緒に食事の準備をして団欒を楽しむ、というもの。家族や仲間たちと遠野にやってきて、土地の人と語らい、土地の食材を堪能する。農家でゆっくりのんびり。グリーンツーリズムの本流というべき道は開かれたばかりである。



■ 民泊の仕組み



11 遠野ワーキングホリデーの力

Power of Working-holiday in Tono

<p>元気の源としてのワーキングホリデー</p> <p>堆肥だしハイ</p> <p>「遠野に伺う前は、まともにしゃべることさえできなかった学生が、私の言葉に対する反応がよく、自分を表現できるようになりました」～指導教官のメール</p>	<p>仲間づくりとしてのワーキングホリデー</p> <p>リピーター率の上昇</p> <p>'02 '03 '04</p> <p>3.8% ⇒ 12.5% ⇒ 68.9%</p> <p>203人日 400人日 486人日</p>	<p>結いの復活としてのワーキングホリデー</p> <p>茅葺きゴミ収集所建築</p> <p>3日間、延べ80人、総勢30人</p> <p>地域住民＋助っ人大学生</p>	<p>建築中 March 2003</p> 
<p>建築中 March 2003</p> 	<p>農村理解の機会としてのワーキングホリデー</p> <p>集落型ワーキングホリデー</p> <p>調査＋祭りの復活</p> <p>教育・福祉分野へ</p>	<p>元八幡神社例大祭 September 2004</p> 	<p>擬似家族としてのワーキングホリデー</p> <p>貨幣が介在しない⇒経済的関係に入らない</p> <p>ともに食事⇒時空間の共有</p> <p>平均滞在日数5日⇒共同体の構成員化</p>
<p>ビジネスとしてのワーキングホリデー</p> <p>顧客獲得・顧客増大</p> <p>口コミ営業</p> <p>コスト競争からの逸脱</p> <p>生涯顧客価値の増大(LTV)</p>	<p>ワーキングホリデーの費用対効果</p> <p>【初期費用】ハード:基本ゼロ ソフト:基本ゼロ 【運営費用】通信費、滞在期間中の食費・光熱費 【収入】参加者の仕事量(1日当り労働量×日数)、参加者の後日の購入(リピートする)、知り合ったことによる心の充足感... 果たしてその差は...?</p>	<p>ワーキングホリデーと行政</p> <p>先進地である長野県飯田市、宮崎県西米良村は行政主体で実施。</p> <p>遠野は、市民から始まり、現在はNPO山里ネットが運営。</p>	<p>ワーキングホリデーの課題</p> <p>【リスク管理】参加者が増えるにつれ、事故や怪我などの危険が増大。</p> <p>【これまでの対応】参加者への自己責任原則と国内旅行傷害保険加入推奨。</p> <p>【これからの対応】各農家の保険加入(総合・個人賠償責任保険)。衛生講習会の開催(NPO主催、行政の保健衛生セクションの協力)</p>
<p>ワーキングホリデーの展望</p> <p>農村・農家をよく知るための入り口機能</p> <p>【少数だが増えつつあるニーズへの対応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村への移住定住・就農希望・農家民宿開業... <p>【ワーキングホリデーの次のステップ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農村農家にスムーズに定住するための通過儀礼的な役割(事務局機能)の充実 	<p>稲刈り September 2004</p> 	<p>ワーキングホリデーとは①</p> <ul style="list-style-type: none"> ■マストゥーリズム <従事者→顧客> = 垂直的關係 ■ポスト・マストゥーリズム <ホスト→ゲスト> = 水平性的關係 ■ポスト・マストゥーリズム = sustainable tourism <p>ワーキングホリデーを含むグリーンツーリズムはポスト・マストゥーリズムを一部を構成する。</p> <p>(出典:『地域の新しい価値を発信するために』サービスコンサルタント福島規子)</p>	<p>ワーキングホリデーとは②</p> <p>言い換えると、商品経済にともなう権利と義務の関係ではなく(垂直的な関係)、対等な立場での自由な意思による互恵的關係である(水平的な関係)。</p> <p>このような時代(資本経済万能主義的な風潮)だからこそ、ワーキングホリデーの世界に存在意義があるのかもしれない。</p>